

感染症の流行・発生状況について
2024年第50週(12月9日～12月15日) 診断分

● 警報・注意報(県全体)

警報	手足口病
注意報	なし

● 疾患別警報レベル・注意報レベル(各保健所)

警報レベル	注意報レベル
<ul style="list-style-type: none"> ・手足口病 (北部、中部、宮古・八重山保健所管内) ・水痘 (北部保健所管内) ・伝染性紅斑 (北部保健所管内) ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (八重山保健所管内) 	

● 2024年第50週全数報告について(南部保健所管内)※先週までの報告からの追加も含む

《二類感染症》 ・結核 5件	《五類感染症》 ・百日咳 5件 ・梅毒 1件
-------------------	------------------------------

● 南部保健所からのお知らせ

「手洗い」、「咳エチケット」、「換気」等の感染予防策の実施にご協力よろしくお願いします。

① 手足口病

感染症発生動向調査による本県の定点からの報告数が、2024年第50週で定点当たり2.31人(報告数74人)となり減少傾向にありますが、第40週以降継続して警報発令中です。南部保健所管内においては、定点当たり1.25人(報告数10人)となっており、前週に比べて減少しております。

手足口病は主にコクサッキーウイルスA16・A10・A6やエンテロウイルス71による感染症で、手足や口の中などに2～3mm程度の水疱性の発疹がみられ、発熱を伴うことがあります。まれに髄膜炎等の合併症を行うことがあります。

感染経路は飛沫感染・接触感染・糞口感染が知られており、特に乳幼児が集団生活をする保育施設や幼稚園などで注意が必要です。ワクチンはなく、感染予防のためには手洗いの徹底や排泄物の適切な処理が有効です。

② 百日咳

本県から令和6年12月13日付けで百日咳が増加傾向にあるとのプレスリリースがあります。詳細につきましては以下のリンクをご参照ください。

<https://www.pref.okinawa.jp/press/1028521/1032160.html>

百日咳は感染力が強く、乳幼児が感染すると重症化あるいは死にいたることもあります。感染対策には予防接種が非常に重要ですので、生後2か月になった乳児は速やかに五種(四種)混合ワクチンの接種を開始しましょう。乳幼児でまだ予防接種を受けていない場合は早めに接種をください。また、児童・生徒や成人では一般的に軽症となる傾向がありますが、ワクチン未接種の新生児・乳児に対する感染源となりうるため、咳が長引く場合は早めに医療機関を受診してください。

南部保健所管内における百日咳の報告数は2024年第50週時点で延べ36件であり、過去5年間の年間報告数に比べて最も多くなっております。

発熱、長引く咳など体調不良時には、かかりつけ医に相談、受診もしくは、受診医療機関に迷う場合は、「おきなわ#7119電話相談」(#7119 若しくは 098-866-7119)へご相談ください。

※定点医療機関とは、インフルエンザなどの感染症について、患者の発生情報を提供する医療機関のことです。定点1医療機関あたりの平均報告数で、感染症の流行状況を把握しています。

沖縄県全体報告数

南部保健所管内報告数

疾病名	定点区分	47週	48週	49週	50週	50週	47週	48週	49週	50週	50週
		11/18	11/25	12/2	12/9	(定点あたり報告数)	11/18	11/25	12/2	12/9	(定点あたり報告数)
インフルエンザ	インフルエンザ	309	202	224	290	(5.18)	101	48	71	83	(5.93)
咽頭結膜熱	小児科	5	2	4	5	(0.16)	1	0	2	1	(0.13)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	小児科	46	41	64	75	(2.34)	13	6	8	12	(1.50)
感染性胃腸炎	小児科	46	44	58	74	(2.31)	12	12	19	23	(2.88)
水痘	小児科	3	13	6	10	(0.31)	1	6	3	2	(0.25)
手足口病	小児科	235	218	117	74	(2.31)	50	32	21	10	(1.25)
伝染性紅斑	小児科	7	15	12	9	(0.28)	4	3	1	1	(0.13)
突発性発疹	小児科	1	12	4	7	(0.22)	0	5	2	3	(0.38)
ヘルパンギーナ	小児科	4	2	1	0	(0.00)	3	1	0	0	(0.00)
流行性耳下腺炎	小児科	2	2	0	0	(0.00)	1	0	0	0	(0.00)
急性出血性結膜炎	眼科	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
流行性角結膜炎	眼科	6	10	10	6	(0.67)	2	4	6	4	(1.33)
細菌性髄膜炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
無菌性髄膜炎	基幹	0	0	1	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
マイコプラズマ肺炎	基幹	6	1	3	3	(0.43)	0	0	0	0	(0.00)
クラミジア肺炎	基幹	0	0	0	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
RSウイルス感染症	小児科	3	5	4	4	(0.13)	0	0	1	1	(0.13)
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	基幹	0	0	1	0	(0.00)	0	0	0	0	(0.00)
COVID-19	COVID-19	31	29	45	61	(1.09)	8	8	6	24	(1.71)
ヒトメタニューモウイルス(HMPV)感染症							2	1	0	0	(0.00)

警報

注意報

※クラミジア肺炎については、オウム病を除く。